

■坂田一男 洋画家。日本の抽象画の先駆者。中央画壇から離れて厳格なキュビズムを追究、水害で作品失い世に知られず。

さかたかずお

帝国憲法発布1889＝ 岡山市船頭町で、代々大庄屋の三高医学部教授で外科医坂田快太郎の長男に生まれる。祖父も蘭方医。

日清戦争始・1894＝ 5歳： 本家の長男として期待され、何不自由ない恵まれた環境に育つが、

子規句歌革新1898＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝16歳：

韓国反日暴動1907＝18歳： ｱﾌﾌﾞ 創刊・1908＝19歳：岡山中学校卒業、父の希望もあって、_医者になるべく高校を目指すも、

大逆事件判決1911＝22歳： 失敗を繰り返し、神経衰弱に陥り、療養生活して好きな絵を描くうち、現存する最古のデッサン作品。

明治天皇没・1912＝23歳：

大正政変・・1913＝24歳： 坂田家と親しかった阿藤秀一郎から木炭画を学ぶと、

第一次大戦始1914＝25歳：_上京して、本郷絵画研究所の岡田三郎助に師事、

民本主義・・1916＝27歳：_川端学校に移って、藤島武二に師事して、絵画の勉強を続け、

原敬首相暗殺1921＝32歳： 渡仏。パリのグラン＝ショミエールに通い、やがて、フォービズム画家オトン＝フエリスに師事するが、飽き足らず

関東大震災・1923＝34歳：_フェルナン＝レジェの研究所に学び始め、

治安維持法・1925＝36歳：_やがて、オザンファンらと並び、助手格となり、サロン＝ドートンヌなどの展覧会に出品、サロン＝デ＝ザン＝デバンダンなどの会員にもなるが、

満州事変・・1931＝42歳：_父が死去したため、仕送りも途絶え、音信不通となるなか、

五一五事件・1932＝43歳：*パリ時代の作品も持たずに、帰国。玉島にアトリエを構え、

帝人疑獄事件1934＝45歳：_中央画壇とは接触を断ち、絵を売って生計を立てることもなく、苦しい生活を送りながら、純粋に造形の探求に取り組む。

日中戦争始・1937＝48歳：

日米開戦・・1941＝52歳：

創価学会検挙1943＝54歳：

年金+総武装 1944＝55歳：*水害に遭い、作品多数を失う。

敗戦・・・1945＝56歳：敗戦後、

請われて、各種美術・文化団体の指導をするようになり、

三大事件・・1949＝60歳：*A・G・O(アヴァンギャルド・岡山)を結成、注目すべき指導を行うが、

独立回復・・1951＝62歳：

メデー事件・1952＝63歳：_一般にはほとんど画業を知られないまま、

55年体制始・1955＝66歳：_再び、水害に遭い、作品多数を失い、

国連加盟・・1956＝67歳：*脳溢血で倒れ、没した。翌年、プリヂストン美術館で遺作展が開かれ、日本における抽象絵画の先駆者として評価される。